

# 吐物の処理

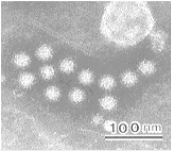
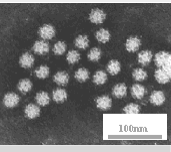
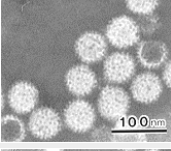
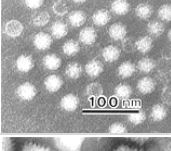
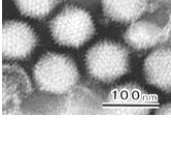
## ～感染性胃腸炎を疑うときは～

平成28年4月21日

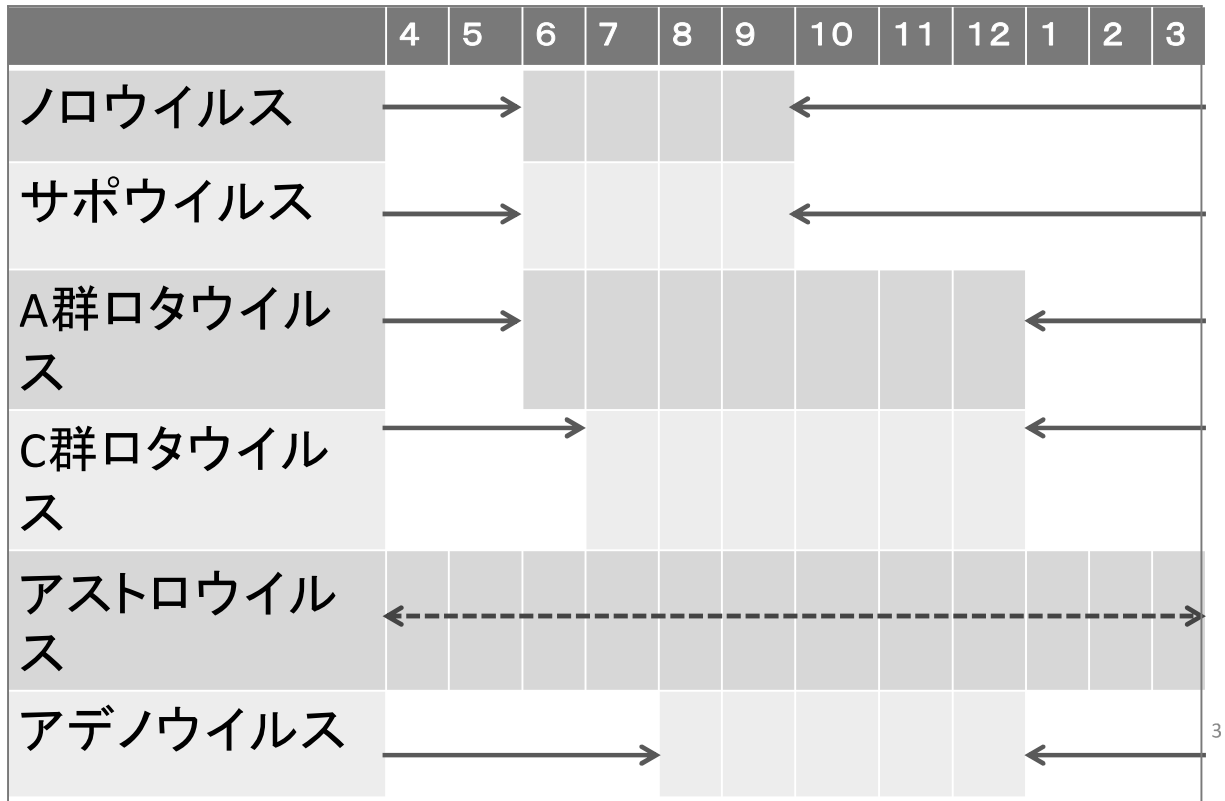
印旛健康福祉センター 疾病対策課



## 主な感染性胃腸炎の原因ウイルス

ウイルス		潜伏期	主症状	流行の特徴
ノロウイルス		24～48時間	下痢、嘔吐、 (発熱)	全年齢層 ウイルス性食中毒の主原因 様々な施設で集団発生
サポウイルス		24～48時間	下痢、嘔吐、 (発熱)	乳幼児～小児が主体 保育園、小学校等で集団発生
ロタウイルス		2～4日	下痢、嘔吐、 発熱	乳幼児が主体 15人に1人の割合で入院し、毎年 死亡例がある。学童、成人(老人 施設等)で集団発生
アストロウイルス		1～4日	下痢、嘔吐、 発熱	乳幼児～小児が主体
アデノウイルス		3～6日	下痢、高熱	乳幼児が主体

# 感染性胃腸炎（ウイルス）の流行時期

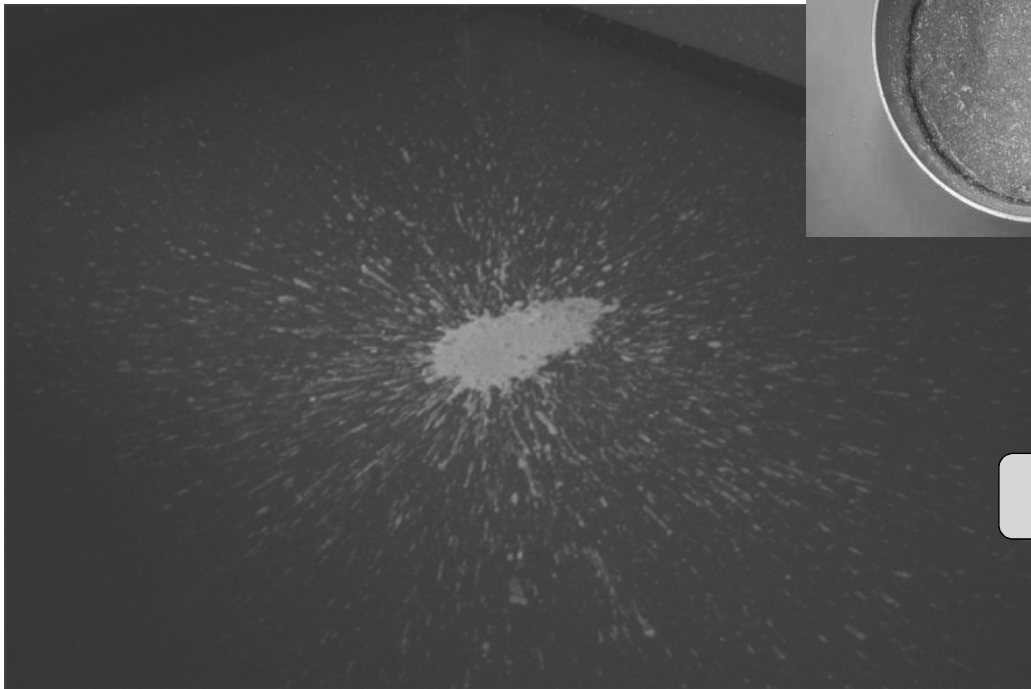


## 嘔吐物の拡散実験

多摩府中保健所調査結果より

# 擬似おう吐物の拡散実験

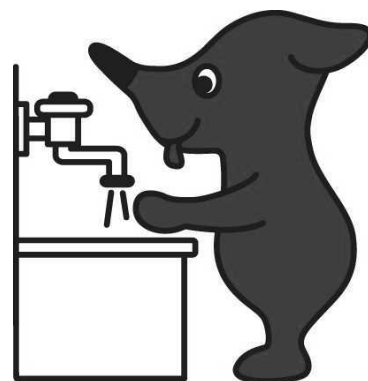
擬似おう吐物: 1mの高さから落下



100ml

約1.7メートル飛散

## 吐物処理の実際





新聞紙

トイレット  
ペーパー

次亜塩素酸  
ナトリウム溶液

使い捨て  
エプロン

ビニール袋

処理手順マニュアル

マスク

使い捨て手袋

## 嘔吐物処理セットの一例



- 使い捨て手袋
- 使い捨てマスク
- 使い捨て  
エプロン
- ビニール袋
- 新聞紙  
ペーパータオル
- 消毒薬  
(次亜塩素酸ナト  
リウム)
- 処理手順  
マニュアル

# まずは換気を忘れず！



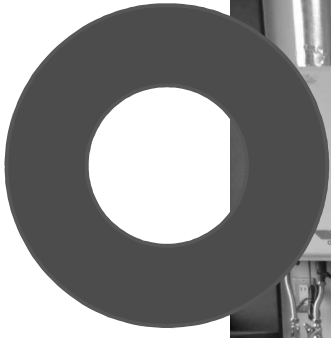
○		室内の空気の流れをスムーズにするためには、空気の出入り口をできるだけ対角線となるように2か所以上つくる。換気扇を使用する場合も、反対側にある窓を少し開け、空気の入り口をつくと効果的。
×		このような例は、風の出入り口がなく、効果的な換気は期待できません。

9

## 処理時のポイント

- 大きく窓を開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転する
- 汚染場所には関係者以外人が近づかないようにする
  - ①患者ケア担当
  - ②吐物処理担当
  - ③他児童・生徒の避難等の補助担当





標準予防策は  
マスク・手袋・  
ガウン(エプロン)  
※余分な物は身につけない

## 消毒場所の確保・机の移動



# ゴミ袋を二つ用意



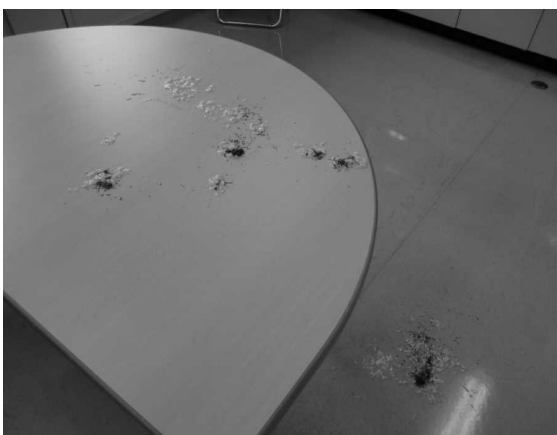
13

## 食器などを片付ける

※嘔吐物が食器についてしまった場合、絶対に給食室には持っていかない。



吐物を取り除き、食器のみでビニール袋に入れ、後で消毒する。



## 吐物以外ない状態にする

※イス等近くにあった物品も汚染されている危険あり

14

# 嘔吐物をキムワイプ等で覆う



1

## 吐物処理方法（机）



キムワイプ等の上から消毒薬をたっぷりかける

静かに中心に向かって包み込んでいく（2度拭きしない）

ビニール袋にそっと入れる。嘔吐物が無くなるまで数回繰り返しましょう。

2



# ビニール袋の取り扱いその1



ゴミ袋の中に消毒薬を入れる。



二つ目の袋の中に入れる

ゴミ袋の口を縛る



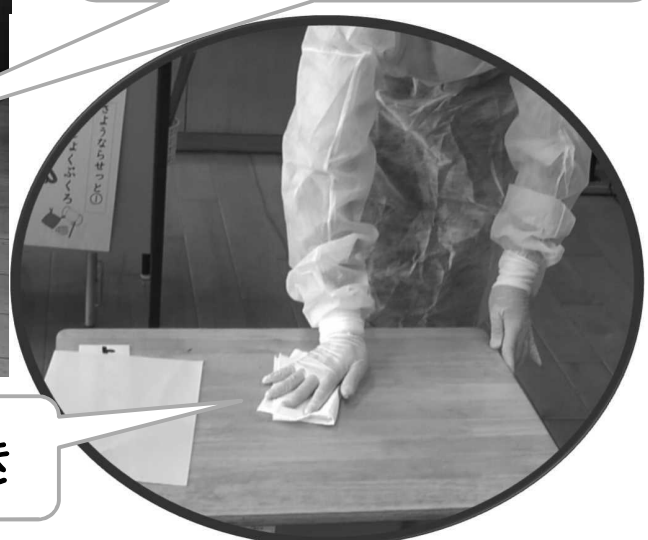
17

- ①嘔吐物を取り除いた机、床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液をまんべんなくかける。
- ②上から40～60ℓのゴミ袋を切り開きかぶせる。
- ③その上に新聞紙を乗せ、光の遮断、消毒中であることを示す。
- ④10分経ったら水拭きする。



ここからが消毒！

0.1%消毒薬を汚染された場所にたっぷりかけて下さい。



10分経ったら水拭き

18



手袋→ガウン→マスクの順  
汚染された外側に触れ  
ないように注意！  
中表になるようにする

吐物を処理した時の  
ゴミ袋も一緒に入れ  
きちんと口を縛って  
処分する



手洗い・うがいをする